ロボット支援体腔鏡下噴門側胃切除の術式と術後呼吸困難の関係に関する研究

1. 研究の対象

2018年4月から2022年2月までに当院中央手術室でロボット支援体腔鏡下噴門側胃切除を受けられた患者さん

2. 研究目的 方法

ロボット支援体腔鏡下噴門側胃切除患者における術後の呼吸状態を術式の関係を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2018 年 4 月から 2022 年 2 月までに当院中央手術室でロボット支援体腔鏡下噴門側胃切除を 受けられた方の放射線画像等。ICU 入室後の ABG 検査値。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、 研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の 方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出くだ さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

< 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者:

大阪国際がんセンター 麻酔科

古川佳穂

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話:06-6945-1181

-----以上